

# 道徳的価値について自分との関わりで考えを深める児童の育成

—「特別の教科 道徳」における見通しと振り返りの工夫を通して—

前橋市立わかば小学校 神澤 憲明

## I 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説では、これまでの道徳の時間について「他教科に比べて軽んじられていること、読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があること」などの課題が指摘されている。それらの課題を踏まえ、これからの道徳の時間（道徳科）の授業では、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を養う」ことが求められている。

本学級の児童の課題は、道徳の授業で、どんなことを考えるのか見通しがもてていなかったり、読み物教材の登場人物の心情を理解することはできていても道徳的価値について自分と重ね合わせて考えることができていなかったりすることである。また、指導上の課題として、読み物教材の登場人物の心情の読み取りに偏り児童が自分の考えではなく教師が求める答えを見付ける授業、ねらいがあいまいで生活体験の話合いに終始する授業になってしまうことが挙げられる。

こうした課題を克服するためには、価値への方向付けを行い学習の見通しをもたせたり、価値についての変容を自覚させ自分自身を振り返らせたりする手立てが必要だと考えた。

本研究では、道徳的価値に関する問題を自分自身の問題として捉え、問題解決のための話合いを通して高めた道徳的価値の視点から自己を振り返ることができる児童を「道徳的価値について自分との関わりで考えを深める児童」とし、見通しと振り返りの工夫を通して育成しようと考えた。

## II 研究のねらい

道徳的価値について自分との関わりで考えを深める児童を育成するために、見通しと振り返りの工夫を取り入れたことの有効性を、実践を通して明らかにする。

## III 研究の見通し

「特別の教科 道徳」において、授業の見通しと振り返りの工夫により、道徳的価値について自分との関わりで考えを深める児童の育成ができるであろう。

この見通しに迫るために以下の手立てを講じる。

### 1 見通しの工夫

道徳的価値に関する問題を自分自身の問題として捉え、話合いを通して道徳的価値を

高めることができるよう、ねらいとする価値について問題意識をもたせる。

## 2 振り返りの工夫

高まった道徳的価値の視点から自分自身を振り返ることができるよう、導入時と展開後段との価値についての変容を自覚させる。

# IV 実践内容

## 1 見通しの工夫

児童に授業の見通しをもたせるためには、児童が授業でねらいとする価値に関して問題意識をもつことが重要である。

そこで、導入で「道徳的価値に関わる問い」を行い、黒板の右側と左側の二か所に明示した。さらに、展開後段で同様の問いを行うことを伝えた。そのことにより、児童が「本時でどんなことをどのように学ぶのか」という学習の見通しをもち、話し合いを通して道徳的価値を高めることができるようにした。

具体的には、導入で、児童に問題意識をもたせるために「道徳的価値に関わる問い」として、「あたたかい心ってどんな心だと思いますか」(表1)を行った。この問いによって、児童は「あたたかい心」について「優しい心」「よく分からない」などの自分の考えを表出した。この時点での発言は、これまでの自分の経験や感じ方に基づいた価値の捉えである。そこで、「みんなで『あたたかい心』について考えていきましょう。みんなで考えた後、自分を振り返ります」と問いかけ、黒板の右側と左側の二か所に「道徳的価値に関わる問い」を明示し、「みんなで『あたたかい心』について考え、自分を振り返る」という学習の見通しをもたせることができるようにした(図1)。

児童は、本時でねらいとする道徳的価値「あたたかい心」について、読み物教材の登場人物である小鳥のあたたかい心と親切な行動を通し話し合うことができた。そして、友

表1 「道徳的価値に関わる問い」の様子

T:「あたたかい心」って、どんな心だと思いますか?

(図1の①を板書)

C:優しい心

C:親切な心

C:よく分からない。

T:では、みんなで「あたたかい心」について考えていきましょう。みんなで考えた後、自分を振り返ります。

(図2の②を板書)

\*下線部は、問題意識の高まりに関する部分

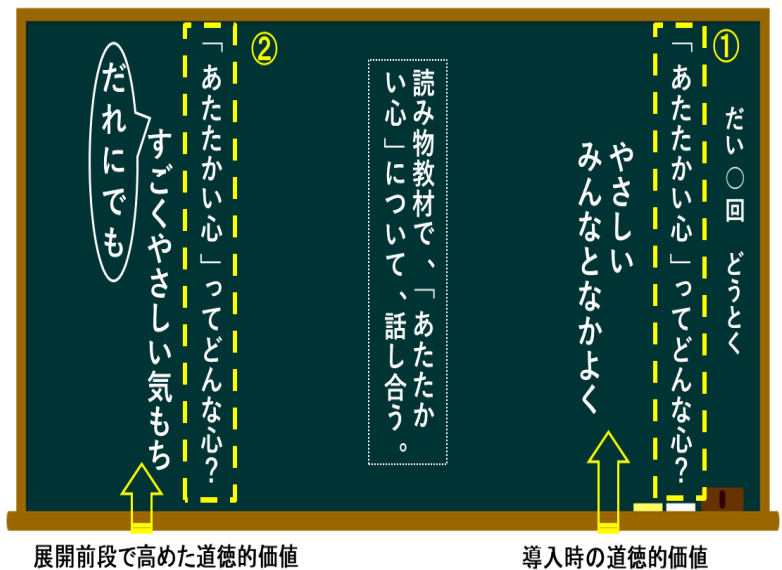


図1 「道徳的価値に関わる問い」を明示した黒板

達でなくてもりすを助けたいという小鳥のよさに気付き、困っている人がいたら誰にでも親切にしようとする事の良さについて考えることができた。

## 2 振り返りの工夫

児童が自分自身を振り返ることができるようになるためには、導入時と展開後段での価値についての変容を自覚させることが重要である。

そこで、展開後段で「道徳的価値に関わる問い」について改めて行い、ワークシートに記入させ、導入時の捉えと比較させることによって道徳的価値の変容を自覚させた。そのことにより、展開前段の話合いを通して高めた道徳的価値の視点から、自分自身を振り返ることができるようにした。

具体的には、展開後段で道徳的価値の変容を自覚させるために「あたたかい心ってどんな心だと思いますか」と導入と同様の問いを改めて行った。また、展開前段での話合いを通して高めた道徳的価値を黒板の左側に示した(図1の②)。さらに、ワークシート(図2の①)に、「あたたかい心」についての捉えを記入させた。

そのことにより、児童は、「あたたかい心」についての捉えの変容を視覚的にも自覚することができた。また、自分のことを振り返るように促すことで、話合いを通して展開前段で高まった道徳的価値の視点から、自分を振り返ることができた(表2)。

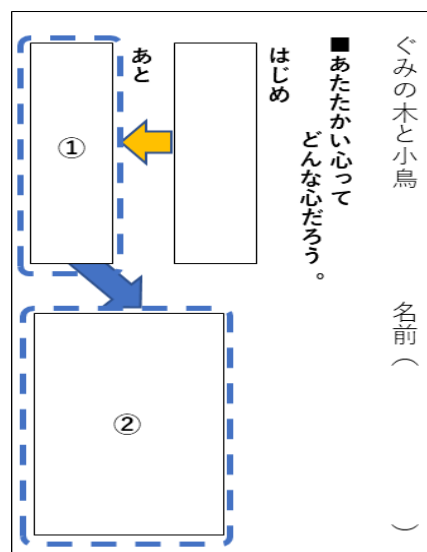


図2 ワークシート

表2 児童の記述  
(図2の②)

公園にあそびに行ったとき、小さい子がいないでいた。知らない子だったけれど、「だいじょうぶ？」って言って、いっしょにお母さんをさがしてあげた。  
\*下線部は、高まった道徳的価値の視点から振り返っている部分

## V 研究のまとめ

### 1 研究の成果

見通しと振り返りの工夫を取り入れたことで、児童は、「どんなことを、どのように学ぶか」という見通しをもって道徳の授業に臨み、道徳的価値に関する問題を自分自身の問題として捉え、問題解決のための話合いを通して高めた道徳的価値の視点から、自己を振り返ることができるようになった。

### 2 今後の課題


授業で扱う教材によっては、道徳的価値に関わる問いが児童にとって抽象的になりすぎて分かりにくくなり、見通しをもてなくなってしまうことがある。導入時に示す「道徳的価値に関わる問い」の示し方を、言葉だけでなく写真やイラストを取り入れて行うなど、児童の実態に応じて工夫する必要がある。


## VI 授業案

### 1 授業概要

対象	2 学年児童 20 名
実践時期	平成 30 年 10 月 25 日（木）第 5 校時
主題名	「だれにでもやさしく」 B-6 親切・思いやり
教材名	「ぐみの木と小鳥」
ねらい	小鳥のあたたかい心と親切な行動について考えることを通して、友達でなくてもりすを助けたいという小鳥のよさに気づき、困っている人がいたら誰にでも親切にしようとする心情を育てる。
教材の概要	ぐみの木に親切にされた小鳥が、りすを心配するぐみの木を見て自分に何かできないかと考えて行動し、ぐみの実を病気で寝ているりすに届ける。小鳥は、動けないりすを見て放っておくことができない。嵐の中でも、小鳥はぐみの実をりすのもとへ届け、りすとぐみの木は小鳥に大いに感謝する。小鳥が行動を起こすもとなる思いを考えさせることによって、小鳥のりすを思うあたたかい心について考えやすい教材である。

### 2 本時の展開

時間	展開	主な学習活動	指導の工夫	期待する子供の姿・反応例
5	導入	「あたたかい心」ってどんな心だろう。		
		○「あたたかい心」について考える。	○『あたたかい心』ってどんな心？」と道徳的価値に関わる問いを黒板の右側に板書する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親切な心かな。</li> <li>・ やさしいしい心かな。</li> <li>・ よく分からないな。</li> </ul>
20	展開前段	「あたたかい心」について、みんなで考えていきましょう。		
		○小鳥の行為や心の動きから、「あたたかい心」について話し合う。	○展開後段で問い直しを行うことを伝え、黒板の左側に『あたたかい心』ってどんな心？」と板書する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで、「あたたかい心」について考えるのだな。</li> <li>・ どんな心だろう。</li> </ul>
				

15	展開後段	小鳥はどうして、りすにぐみのみをとどけたのだろう。		
			<p>○全員が自分の考えをもてるように、一人で考えたり、ペアで考えたりする場を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐみの木に、助けてもらったお返しをした。</li> <li>・はじめは、お返しのつもりだったけど、りすが病気のを見て、心配になった。</li> <li>・友達でなくても放っておけないって小鳥が思ったから。</li> </ul>
5	終末	じゅぎょうで見つけた「あたたかい心」ってどんな心だろう。		
		<p>○授業を通して考えたあたたかい心について、自分の考えを書く。</p>	<p>○「道徳的価値に関わる問い」について改めて問い新たに気付いたことや感じたことをワークシートに記入させる。</p> <p>○導入時の「あたたかい心」の捉えと比較させ、価値についての変容を視覚的にも自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでもすごくやさしい心。</li> <li>・自分がちょっと大変でも、できることをしてあげたいという心。</li> </ul>
今までに、小鳥のように「あたたかい心」でだれにでもやさしくできたことはありますか。				
		<p>○自分を振り返って、考えたことや感じたことを書く。</p>	<p>○話し合いを通して考えた「あたたかい心」について、展開前段で高めた道徳的価値の視点から自分のことを振り返らせる。</p> <p>○児童の記述を見取り、良かったところを前向きに評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園で小さい子が泣いていたから、一緒にお母さんを探した。</li> <li>・1年生がけんかをしていたから、遊びをやめて、仲直りできるように手伝った。</li> </ul>
		<p>○友達の考えを聞き、「あたたかい心」についての考えを広げる。</p>	<p>○高めた道徳的価値の視点から振り返っている意見を共有し、多様な考えを理解させる。</p>	

### 3 評価の視点

展開前段の話し合いを通して高めた「あたたかい心」の視点から、自分自身を振り返ることができていたか。(観察、発言・つぶやき、ワークシート)